

第五十一回帝國議會
衆議院

關稅定率法中改正法律案(政府提出)委員會會議錄(速記)第十七回

會議

大正十五年二月二十四日(水曜日)午前
十時十七分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 加藤政之助君

理事 永田善三郎君

理事 吉津 度君

理事 岩切 重雄君

橋本 喜造君

神部 爲藏君

工藤 鐵男君

來栖 七郎君

堀切善兵衛君

竹内友治郎君

星島 二郎君

田中 隆三君

沼田嘉一郎君

佐々木平次郎君

倉元 要一君

出席國務大臣左ノ如シ

商工大臣 片岡 直溫君

出席政府委員左ノ如シ

外務政務次官男爵 矢吹 省三君

大藏政務次官 武内 作平君

大藏省主稅局長 黒田 英雄君

大藏技師 矢部規矩治君

商工政務次官 柵瀬軍之佐君

商工參與官 野村 嘉六君

商工省工務局長 宮内國太郎君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

商工省鑛山局長 三井 米松君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

關稅定率法中改正法律案(政府提出)

○加藤委員長 是ヨリ關稅定率法中改正法律案ノ委員會ヲ開キマス、前日ニ

引續キ質問ヲ繼續致シマス——堀切善兵衛君

○堀切委員 銑鐵保護ノ初メノ趣意

ガ、印度方面ノ支障ノ爲ニ行惱シデ、政

府ガ別ノ對案ヲ御考ヘニナツタ、此印度

ノ問題デスガ、日本官民ノ間ニ印度ガ

英吉利本國ニ對シテ特惠關稅ヲ設ケヤ

ウト云フ點ト、一般ニ印度ノ財政上ノ

關稅ヨリ輸入稅率ヲ引上ゲヤウトス

ル、此二ツノ觀念ノ混同シテ居ルノデ

ハナイカト考ヘラレル、特惠關稅ト云

フ關係カラ申シマス、私ハ此實現ハ

容易ニ出來ルモノデナイト思ヒマス、所

ガ英國ノ植民地デモ或ハ加奈陀濠太刺

利、南阿ノ「ユニオン」ト云フヤウナ所

謂三大植民地デハ、二十年來三割三歩

三厘ノ特惠ヲ與ヘテ居ルノデアリマシ

テ、是ハ英國ガ元々其處ニ往ッテ植民地

ヲ拵ヘテ、住民ノ大多數ハ英國人デア

ル、尤モ南洋ニハ和蘭人ノ子孫アリマ

スガ、要スルニ白人ヲ以テ國ヲ建テテ

居ル、隨テ本國ニ對スル同情心トカ愛

國心トカ云フモノハ強イデアリマス、

然ルニ印度ニ於テハ全然此關係ガ反對

デ、三億カラアル人口ノ印度人ノ中ニ、

英國人ノ行ッテ居ル者ハ十萬人足ラズ

デアッテ、英本國ニ對スル愛國心、同情

心ハ、決シテ外ノ植民地ノヤウデハナ

ハ、隨テ加奈陀、濠太刺利、南阿ノ如キ

ハ、或ハ十年前、二十年前ヨリ本國ニ特

惠ヲ與ヘタニ拘ハラズ、印度デハ今日

マデ與ヘテ居ナカッタ思フ、隨テ印度

ニ特惠關稅ガ行ハレルカ否ヤト云フコ

トニ付テハ、日本ノ朝野ハ餘リ心配ス

ル必要ハナカラウト思フ、一般的ノ關

稅ヲ引上ゲテ、財政上ノ都合ニ供スル

ト云フヤウナコトハ、是ハ印度ノ國情

ニ依テ當然左様ニ進ムコトト考ヘル、

一般的關稅ナラバ、特ニ日本品ヲ排斥

シ、英吉利品ヲ歡迎スルト云フヤウナ

コトハナイ筈ト私ハ思フ、隨テ一般的

ノ關稅ガ上リ下リスルコトハ、日本ト

致シマシテハ左程ニ是ハ憂フルニモ足

ラナイカトモ考ヘル、外務當局ハ何方

ノ方ニ心配ヲサレテ居ルノデアリマス

カ、先ヅ之ヲ伺ッテ見タイト思ヒマス

○矢吹政府委員 印度ノ綿絲類ニ對ス

ル關稅引上ノコトニ付テ、如何ナル點

ヲ心配シテ居ルカト云フ御質問ニ對シ

テ御答致シマス、關稅ガ現在以上ニ上

ラナイコトガ一番宜イノハ勿論デアリ

マス、而シテ上ルトスルナラバ一般的

ニ上ルト云フコトナラバマダ忍ビ得ル

ト云フコトモ堀切君ト御同感デアリマ

ス、併ナガラ現在ニ於テモ印度ノ綿絲

類ノ關稅ハ相當高イノデアリマスカラ

シテ、今ヨリ以上ニ上ルト云フコトハ、

萬遍ナシニ皆上ルナラバマダ宜シイ、

又之ニ差等ヲ設ケテ、日本カラ這入ル

ヤウナ物ニ對シテ成ベク餘計ニ課スル

ヤウナコトニナリマス、ソレダケ迷

惑ハ致シマスガ、其場合モマダ忍ベル

ノデアリマス、唯印度ニ於キマシテ日

本ノ綿絲類ニ對スル稅率ト、英國ノ綿

絲類ニ對スル稅率ト、差別的取扱ヲセ

ラレルコトガ一番困ルノデアリマス、

現在ノ心配ハ主トシテ其方ニ在リマ

ス、例ノ日印條約ノ廢棄ノ如キコトガ

起ルト、直ニサウ結果ガ來ルカト思ハ

レマス、一番心配ニナルノハ、日本品ニ

對スル差別的取扱、即チ日本品ト英本

國品トガ印度市場ニ於テ競争スル場合

ニ、非常ナ不利益ノ立場ニ置カルコ

トガ今日ノ懸念ノ最モ重要ナル點デア

リマス、先日印度ニ開カレマシタ商工

業者ノ大會ニ於キマシテハ、幸ニ日印

條約廢棄ト云フコトハ、決議ニ至ラズ

シテ終ッタノデアリマスガ、サウ云フコ

トハ是デ止ムベキ事柄デハナイカト思

ヒマス、或ハ他日印度ノ議會ノ問題ニ

モナルヤウナコトガアリハセンカト云フコトヲ懸念シテ居リマス、之ニ對シテハ官民共ニ印度ニ於キマシテ左様ナ事ノ起ラナイコトヲ希望シテ色々運動モ致シテ居ル次第デゴザイマスカラ、實ハ日本側ノ主張ヲ能ク諒解シナイ場合ニハ、或ハ憂フベキ場合ガ來ルカトモ思ヒマスガ、現在デハ安心ト云フコトニモ參リマセヌガ、只今ノ所極力事情ヲ諒解サセテ、左様ナ差別的待遇ノ起ラヌヤウニ努メテ居リマス、御質問ニ對スル御答トシテハ、只今申上ゲマシヤウニ差別的ノ待遇ヲ受ケルト云フコトガ吾々ノ最モ懸念シテ居ル點デア

ルト御承知ヲ願ヒマス
○堀切委員 商工大臣ガ御見エニナリマシタノデ、簡單デアリマスカラ其方カラ濟マスコトニ致シマス、銑鐵保護ノ爲ニ關稅ヲ掛ケルト云フ考ヲ止メマシテ、政府ハ近ク製鐵獎勵法ニ改正ヲ施シ、其御提案ヲ見ルニ至ルデアラウト云フコトヲ承ッテ居ルデアリマスカ、ソレガ關稅ニ代ルベキモノデアアルカ、代ルベキモノデナイカト云フコトハ、昨日ノ御話デハソレガハッキリ致サナカッタノデアリマス、吾々ハ何方デモ宜シイ唯々問題ハ出來ルナラバ之ヲ比較シテ見タイ、サウスレバ吾々ガ此關稅ノ可否ヲ論ズル上カラ申シマシテモ大變都合ガ好イノデアリマス、併シ關稅ノ審議モモウ大分進ミマシテ、今兩三日ノ中ニ是ガ終リヲ告ゲルヤウニナ

ルデアラウト思フ、ソレ故ニ此審議ガ濟ム以前ニ於テソレガ御提案ノ運ニナレルモノデセウカ、如何デスカ、先ヅ之ヲ伺ヒマス
○片岡國務大臣 成ベク早く提出致シタイト考ヘテ居リマスガ、製鐵會計法ノ改正ト、直接ノ關係ハアリマセヌガ、多少關係シテ考ヘナケレバナラヌコトガアル、其會計法ノ改正ハ可ナリ面倒デアリマシテ、ドウモ兩三日ノ間ニ提出ニナルト云フコトハ、チトムヅカシイカト思ヒマス、併シ極ク非公式ニ獎勵法ハドウ云フ仕組ニヤルモノデアアルカト云フコトハ、此場所デ御目ニ懸ケル譯ニハ行キマセヌガ、斯ウ云フ方法ノ

モノデアアルト云フコトヲ御話スルコトハ妨ゲナイト思ヒマス、昨日モ一寸山本委員ニハ御話シテ置イタ位デスカラ、ソレハ宜シイガ、何分閣議ノ濟マヌモノヲ公ニ出スト云フコトハ出來マセヌ、ソレデ考ヘテ見タイト云フ御腹案ニ對シテ、私ノ方ノ腹案ヲ非公式ニ御話スルコトハ差支ナイト思フガ、何分二三三ニハ一寸ムヅカシイト思ヒマス、ケレドモモウ議會モ段々日ガ無クナリマシタカラ、會計法ノ改正ナドト云フコトヲサウ切迫シテ出ス譯ニ參リマセヌカラ、極メテ急イデ居リマスガ、兩三日ト云フコトハ行クマイト思ヒマ

スル者ニ對シテ獎勵金ヲ與ヘルト云フ御趣旨、私ハ是非常ニ結構ダラウト思フ、所謂錐直の統一ト云フコトハ、是ハ製鐵事業發達ノ爲ニ必要缺クベカラザルコトデアアル、其御精神ニ御進ミニナルコトハ誠ニ結構デアアル、ソレモ必要デアルガ、私ハ關稅モ必要デアルト云フ議論ニ達スルカモ知レヌ、事ニ依ルト其關稅デ取ツタ金ヲ獎勵金ニ與ヘタナラバ、尙ホ結構カモ知レナイ、サウ云フ點ニ付テ、是ハ腹案ダケデハ困ルノデアリマス、後ニ閣議等デドウナルカ分

リマセヌカラ、成ベクナラバ閣議ノ決定シタ政府ノ御提案ヲ、出來ルダケ早ク願ハレマスレバ誠ニ幸ト思ヒマス、此際ソレデハ是非同ッテ置キタイノデアリマスガ、段々御話ニ依テボンヤリシタ輪廓ダケハ見當ガ付イタヤウデアリマスガ、此獎勵金ヲ御出シニナルトキノ標準ハ何處ニ御置キニナルカ、即チ鑛石ヨリ銑鐵、銑鐵ヨリ鋼鐵ト進ンデ參ル過程ノ中デ、例ヘテ申スナラバ十萬噸ノ鑛石ヨリ三萬噸ノ銑鐵ヲ拵ヘタ、其三萬噸ノ中デ一部分ハ他ニ利用スルモノモアリマセウ、先ヅ一萬噸鋼鐵ヲ拵ヘタ、斯様ナコトニナレバ十萬噸ノ鑛石ヲ目標ニシテ獎勵金ヲ御出シニナルカ、或ハ三萬噸ノ銑鐵ガ目標デアアルカ、又ハ一萬噸ノ鋼鐵ガ目標デアアルカ、何處ヲ目當ニシテ獎勵金ヲ御出シニナリマス

○片岡國務大臣 立法ノ體裁ハ製鋼ヲ目的トシテ居ルノデ、銑鐵ヲ目的トシテ居ラヌノデアリマス、併ナガラ自然矢張銑鐵カラ出立スルノデスカラ、自ラ根柢ハ此處ニ在ルナト云フコトハ御諒解ガ出來ルノデアリマス
○堀切委員 其點ガマダ不明デアリマスガ、然ラバ今三萬噸ノ銑鐵ヲ拵ヘタ、其中銑鐵デ會社ガ外ニ賣拂ッテシマツタ、半分ダケノモノヲ原料トシテ鋼鐵ヲ造ツタ、其鋼鐵ガ一萬噸ニナッタト云フヤウナ場合ニハ、銑鐵トシテ出來上ツタ三萬噸全部ニ對シテ獎勵金ヲ御出シニナルカ、其一部ヲ賣拂ッテ殘ツタ部分ヲ鋼鐵ニシタ、其殘ツタモノダケヲ目當ニ爲サイマスカ、其點ヲ伺ッテ置キタイ
○片岡國務大臣 賣拂ヒマシテモ鋼材ヲ造ル爲ニ賣ルト云フ方ニ對シテハ獎勵金ヲ與ヘルコトニナルノデアリマス

○堀切委員 サウ致シマス、此間岩切君ノ御話ノヤウニ、結局ハ銑鐵ヲ拵ヘル者ニ獎勵金ヲ與ヘル目的ハ、銑鐵ノ輸入ヲ防グ爲メデアルト云フヤウナコトデアアルガ、頭隠シテ尻隠サズト云フヤウナ結論ニ陷リハシナイカト思フガ、商工大臣ハ名案ヲ御發見ニナッタト云フ御言明デアリマシタカラ、名案デアアルニ相違ナイトハ考ヘマスガ、尙ホ吾々ハ決マツタ提案ヲ拜見致サナイ以上ハ、何トモ之ニ對シテ吾々ノ判斷ヲ下シ兼ネルト云フコトダケヲ申上ゲテ、私ノ商工大臣ニ對スル質問ハ是デ

○堀切委員 昨日ノ御話ノ御趣意ニ依リマシテ、鑛石ヨリ銑鐵、銑鐵ヨリ鋼鐵、

或ハ更ニ其上ノ製品マデ一貫シテ製造スル者ニ對シテ獎勵金ヲ與ヘルト云フ御趣旨、私ハ是非常ニ結構ダラウト思フ、所謂錐直の統一ト云フコトハ、是ハ製鐵事業發達ノ爲ニ必要缺クベカラザルコトデアアル、其御精神ニ御進ミニナルコトハ誠ニ結構デアアル、ソレモ必要デア

○片岡國務大臣 立法ノ體裁ハ製鋼ヲ目的トシテ居ルノデ、銑鐵ヲ目的トシテ居ラヌノデアリマス、併ナガラ自然矢張銑鐵カラ出立スルノデスカラ、自ラ根柢ハ此處ニ在ルナト云フコトハ御諒解ガ出來ルノデアリマス
○堀切委員 其點ガマダ不明デアリマスガ、然ラバ今三萬噸ノ銑鐵ヲ拵ヘタ、其中銑鐵デ會社ガ外ニ賣拂ッテシマツタ、半分ダケノモノヲ原料トシテ鋼鐵ヲ造ツタ、其鋼鐵ガ一萬噸ニナッタト云フヤウナ場合ニハ、銑鐵トシテ出來上ツタ三萬噸全部ニ對シテ獎勵金ヲ御出シニナルカ、其一部ヲ賣拂ッテ殘ツタ部分ヲ鋼鐵ニシタ、其殘ツタモノダケヲ目當ニ爲サイマスカ、其點ヲ伺ッテ置キタイ
○片岡國務大臣 賣拂ヒマシテモ鋼材ヲ造ル爲ニ賣ルト云フ方ニ對シテハ獎勵金ヲ與ヘルコトニナルノデアリマス

○堀切委員 サウ致シマス、此間岩切君ノ御話ノヤウニ、結局ハ銑鐵ヲ拵ヘル者ニ獎勵金ヲ與ヘル目的ハ、銑鐵ノ輸入ヲ防グ爲メデアルト云フヤウナコトデアアルガ、頭隠シテ尻隠サズト云フヤウナ結論ニ陷リハシナイカト思フガ、商工大臣ハ名案ヲ御發見ニナッタト云フ御言明デアリマシタカラ、名案デアアルニ相違ナイトハ考ヘマスガ、尙ホ吾々ハ決マツタ提案ヲ拜見致サナイ以上ハ、何トモ之ニ對シテ吾々ノ判斷ヲ下シ兼ネルト云フコトダケヲ申上ゲテ、私ノ商工大臣ニ對スル質問ハ是デ

止メマス、ソレカラ外務次官ニ對シテ
先程御質問申上ゲタ點ノ引續キデアリ
マスガ、サウスルト外務省デハ印度政
府ハ矢張日本ノ品ニ對シ特別待遇ヲ爲
シ、本國品ニ對シ特惠關稅ヲ設定スル
コトヲ加奈陀濠太刺利等ノ如ク致ス憂
ノアルモノト御考ヘニナッテ居ルト認
メテ宜シウゴザイマスカ

○矢吹政府委員 先程堀切君ノ御説ノ
ウヤナ、加奈陀、濠太刺利ト印度ト較ベ
テ、特惠關稅ヲ布ク見込ガ印度ニ於テ
少イト云フ點ハ御同感デアリマス、唯
此際問題ニナッテ居リマス印度ノ綿絲
布關稅ニ關スル印度側ノ運動ノ經過ヲ
見マス、普通ノ場合ニ理性ヲ以テ判
斷スルコトノ出來ナイヤウナ經過ヲ見
テ居ルノデアリマス、ソレ故ニ堀切君
ノ御説ノ如ク通常ノ場合ニ於テハ左様
ナコトガ起リ得マイト思ヒマスガ、今
日印度ニ於ケル綿絲布ニ對スル關稅問
題ノ經過ハ、大ニ冷靜ヲ缺イデ居ルト
云フ點カラ申シマテ、或ハ其爲ニ普通
ノ場合ニ想像出來ナイヤウナ特惠關稅
ガ、印度ト英吉利國トノ間ニ見ルコト
モナイデハナイカト思ッテ居リマス、ソ
レデ其一ツノ事實トシテ申上ゲマス
ト、昨年ノ暮印度ニ於テハ從來印度ノ
紡績製品ニ對シテ生産稅ト云フモノヲ
三分五厘掛ケテ居ッタノデアリマス、此
起リハ主トシテ英吉利ノ紡績ヲ保護ス
ル、印チ所度ノ市場ニ於ケル英吉利ノ
紡績品ノ競争ヲ仕易イヤウニスル、有

利ノ立場ニ置ク爲メデアリマス、ソレ
ヲ昨年ノ暮ニ於テ三月間此生産稅ノ徵
收ヲ停止スルト云フコトニ致シタノデ
アリマス、尙ホ其三月間經過シテ後ニ
於テ之ヲ廢止スルト云フヤウナ見込モ
アルヤウナコトデアリマス、即チ生産
稅トシテ過去ニ於テ課セラレタ三分五
厘ト云フモノハ課セラレナクナッタ、ソ
レダケ印度ノ紡績業ハ有利ニナッタ譯
デアリマス、左様ナ停止ト云フヤウ
ナコトガ從來ハ容易ニ行ハレナイ狀態
ニアッタニ拘ラズ、英吉利ノ紡績業トノ
諒解ガ相當ニ付イタモノト見エマシ
テ、昨年ノ暮十二月ノ終ニ於テ之ヲ廢
止スルト云フコトヲ公布サレタノデア
リマス、是ハ印度ノ紡績業者ガ英吉利
ノ紡績業者ニ對スル好意ノ一ツノ象徴
デアラウカト思ヒマス、其好意ト云フ
モノヲ更ニ擴大シテ行クト、特惠關稅
ノ如キ場合モ想像シ得ルガ、普通ノ場
合ニ於テハ堀切君ノ御説ノ如ク、印度ト
英本國トノ特惠關稅ノ如キモノハ實行
不可能ノヤウニ見エマスガ、實際ニ於
テハ今日ノ經過ニ見マシテ、或ハサウ
云フヤウナ所ニマデ行ク傾向ヲ持ッテ
居ルノデハナイカト思フノデアリマス

○堀切委員 御話ノ點ハ能ク分リマシ
タ、サウシテ鐵ノ關稅ヲ掛ケヤウト云フ案
ガ閣議ニ出タ際ニ、外務省筋ハ之ニ反對
デ、之ニ反對スルノハ英吉利政府ナリ印度
政府ナリカラ外務省ニ何等カノ交渉ガ
アッタノデアリマス、成ダケ日本デ斯
ウ云フコトヲシテ貫ヒタクナイト云
フ交渉ガアッタ結果デアリマセウカ、更
ニ進ンデ日本デ鐵其他ノ印度産物ニ課
稅ヲシナケレバ、英吉利及印度政府ニ
於テハ矢張日本ノ輸出物ニ對シテ稅ヲ
課ケナイヤウニ努力スル積リダト云フ
ヤウナ交換的ノ申込デモアッタ結果デ
ス、外務省ノ御心配ノ餘リ關稅ニハ反
對爲サレタノデアアルカ、ソレヲ承リタ
イ

○矢吹政府委員 銑鐵ノ關稅ヲ引上ゲ
ナイト云フコトハ、閣議デ左様ニ決定
シタノデハナク、關稅ノ委員會ニ於テ
左様ニ決定シタノデアリマス、而シテ
之ニ對シテハ印度ノ綿絲布ノ關稅ニ對
スル大ニ懸念ガアルト云フコトハ、勿
論外務省カラ委員會デ述べラレマシ
テ、ソレ等ガ委員諸君ノ多大ノ考慮ノ
上ニアッテ、銑鐵ノ關稅ガ原案ノ如クニ
ナッタト思ヒマス、而シテ印度或ハ英吉
利政府カラ此銑鐵ノ關稅ヲ上ゲナイヤ
ウニシロ、然ラバ綿絲布ノ關稅ニ於テ
モ日本ノ迷惑ニナラヌヤウニスルカラ
ト云フ諒解ガ、印度政府ト英吉利政府
トニアッタカト云フト、左様ナコトハナ
イト御答申上ゲマス、ソレデ外務省ハ
然ラバ何故ニ左様ナコトヲ關稅委員會
ニ於テ申シタカト云フコトヲ再ビ繰返
シテ申シマス、兎ニ角最近ノ傾向ガ、
印度ノ綿絲布ノ關稅引上ゲト云フ問題
ハ、非常ニ向フガ熱シテ居ル、冷靜ヲ缺

イテ居ル、斯ル場合ニ於テハ一寸シタ
コトガ以外ナル結果ヲ生ム虞ガアルト
云フヤウニ之ヲ見マシテ、此際銑鐵關
稅ノ如キモノヲ日本デ引上ゲルト云フ
コトガアレバ、其冷靜ヲ缺イテ居ル彼
等ニ、更ニ油ヲ注グ懸念ガ大ニアリマ
ス、ソレ故ニ我政府ト致シマシテハ、何
等英政府或ハ印度政府ノ依頼ガアッタ
譯デモナク、唯彼等ノ冷靜ニ事態ヲ判
斷スル機會ヲ與ヘタイガ爲ニ、我國ニ
於テハ自ラ大ニ冷靜ナル態度ヲ執ッテ、
彼等ノ反省ヲ求ムルト云フコトガ此
際賢明デアラウカト思ッタノデアリマ
ス

○堀切委員 サウ致シマス英吉利政
府カラモ印度政府カラモ、何等交渉ガ
アッタ結果デナイ、唯此方カラ心配ヲ致
シタ餘リ斯様ナコトニナッタト致シマ
ス、御心配ノ程度ハ寔ニ是ハ諒ト致シ
マスガ、少シ御心配ガ過ギタノデハナイ
カト考ヘル、現ニ印度デハ銑鐵ニ對シ
一割ヲ課シテ居ルノデアリマスカラ、
其同ジ一割程度マデ日本ガ銑鐵ノ關稅
ヲ掛ケテ、必ズシモ印度ヲ目標トスル
ノデナク、廣ク一般ニ課シタト云フコ
トデ初メテ兩方デ「バランス」ガ取レル
ノデアアル、日本バカリ不都合ヲ致シタ
譯デハナイ、相當ノ理由ガ立ッデアラウ
ト思フ、之ヲ諒解セシムル手段ヲ盡セ
バ、必ズ諒解スルコトデアラウト思フ、
而シテ先ヅ日本デ之ヲ全然關稅ヲ掛ケ
ルト云フコトヲ放棄シテシマッテ、幸ニ

印度ノ方デ稅ヲ日本品ニ對シテ上ゲル
ト云フヤウナ事ヲシテ吳レナケレバ宜
シウゴサイマスガ、萬一向フダケデ勝
手ニ引上ゲタナラバ、日本ハ大損ヲシ
ナケレバナラナイコトニナル、之ヲ私
ハ更ニ上手ニヤルナラバ、印度デ掛ケ
テ居ル一割程度ニ日本デモ掛ケテ置イ
テ、サウシテ印度デ掛ケテ吳レルナ
ト申込デ來タ場合ニ、ソレデハ此方
ノ物モ掛ケテハイカヌゾト云フ、所謂
之ヲ以テ協定ノ基礎ニ致シタ方ガ賢明
デハナイカト思フ、此方デハテンデ初
メカラ無條件デ無稅ニシテ置イテ、只
今次官ノ御説明ニナッタ通り、狀況ガ險
惡デアルト云フコトデアルガ、彼等ハ

テ私御無理トハ思ヒマセス、至極合理的
ナ御意見ト拜聴致シマシタ、唯先程申
上ゲマシタ通り、今日ノ事態ハ斯ル合
理的ニ事柄ヲ理解スルニハ、餘リニ彼
等ガ熱シテ居ルト云フ事ト吾々ハ思ッ
テ居リマス、暫ク彼等ノ冷靜ニ戻ルノ
ヲ待ツテ、徐ニ理ノアル所ヲ説クヨリ外
ナイカト思ッテ居リマス、堀切君ノ御説
決シテ合理的デナイトハ申シマセス、
合理的ノ御説ト思ヒマスガ、只今ノ所
ハ向フノ事態カラ見レバ、暫ク現在當
局トシテ執ラントスル處置ガ最モ適當
ナモノデモアルト、斯様ニ考ヘテ居リ
マス

○堀切委員 モウ御仕舞デアリマス、
印度ノ方デ若シ萬一綿絲布其他ノ稅ヲ
掛ケテ行ッタト云フ場合ニ、日本デモ然
ラバ銑鐵ニ課稅スル、斯ウナリマシタ
際ニハ、所謂關稅戰爭ノ端ヲ開クコト
ニナリハセヌカ、ソレヨリハ今日ノ所
此方モ相當ニ進ンデ、向フデ掛ケル限
度マデ掛ケテ行ク、是ガ正當デアルト
云フコトハ何人モ議論ノ餘地ハナイ、
是ハ反對シヤウハナイノデアアル、之ニ
對シテ反對運動ヲ起シタ所デ一時ノコ
トデ、何時カ諒解サレルニ相當ナイ、唯
日本デ處アリト申シマスガ、却テ此
際ニ餘リ御心配ヲナサツタ爲ニ、私ハ左
様ナ關稅戰爭ナドノ「チャンス」ヲ造ル
コトニナリハセヌカト考ヘラレルノデ
アリマス、併シ私共ハ印度ト關稅戰爭
ノアリ得ベシナドトハ考ヘル譯ハナ

イ、印度カラ日本ガ輸入シ、此方カラ印
度ニ輸出スル、印度ト日本トハ片貿易
デハナク、日本ノ方ガ中ニ好イ御得意デ
アリマス、印度人ノ大多數ハ日本ト關
稅戰爭ヲシヤウト云フサウ云フ考ハ起
スマイト思ヒマス、モウ少シ實ハ御質
問申上ゲタイ所モアリマスガ、非常ニ
憲政會ノ諸君ハ御急ギノヤウデアリマ
スカラ、私ハ是デ質問ヲ打切りマス
○加藤委員長 四百六十二ニ付テハ橋
本君、永田君、工藤君、吉津君ノ御通告
順ニナッテ居リマスガ、橋本君ハ……
○橋本委員 宜シウゴザイマス
○加藤委員長 永田君ハ……
○永田委員 止メマセウ
○加藤委員長 工藤君
○工藤委員 今堀切君ノ御質問デ大概
御答ヲ得タヤウデ、ソレ以上伺フコト
モアリマセヌカラ是デ止メマス
○加藤委員長 ソレデハ竹内君ハ四百
六十二ニアリマスガ、ソレデハ岩切君
○岩切委員 此前承リマシタカラ極メ
テ簡單ニ要領ダケ申上ゲマス、銑鐵ノ
問題ハ大分質問者モアリマシテ能ク分
リマシタカラ、是レ以上私聞ク所ハア
リマセヌ、唯銑鐵ノ問題ハ關稅ニ依テ
ヤラズトモ保護サレル方法ヲ政府ハ考
ヘテ居ラルル譯デアリマスガ、此間
題ハ先ヅ姑ク置キマシテ、鋼材ニ關ス
ル問題デアリマスガ、是ハ先日私ハ此
引上ノ程度デ果シテ製鋼業ト云フモノ
ヲ保護シ得ルヤト云フコトヲ申上ゲタ

ガ、今日ノ新聞ニ依テモ、産業保護法ヲ
印度ニ布イテ貫ヒタイト云フ建議ヲ進
メテ居ルト云フコトデアリマス、サウス
レバ向フデハ之ヲ掛ケルカモ知レナイ
ガ、日本ガ早クモ此方デ眞ッ裸ニナッテ
シマッタト云フコトハ、少シ早計デハナ
カッタカト思フ、此方ハ隻手空拳デ、相
手ハ武裝シテ居ッテハ、到底戰ハ敵ハナ
イ、當然日本デモ相當ノ着物ヲ着ル資
格ガアリ、權利ガアルノデアリマス、印
度デ武裝シテ居ル程度ノ即チ一割位ハ
日本デモ武裝ヲヤッテ、而シテ他日協定
ノ基礎ニ之ヲ供シタ方ガ宜カッタラウ
ト思ヒマスガ、此點ニ對スル外務省ノ
御見解ハ如何デアリマセウ
○矢吹政府委員 堀切君ノ御説、決シ

テ私御無理トハ思ヒマセス、至極合理的
ナ御意見ト拜聴致シマシタ、唯先程申
上ゲマシタ通り、今日ノ事態ハ斯ル合
理的ニ事柄ヲ理解スルニハ、餘リニ彼
等ガ熱シテ居ルト云フ事ト吾々ハ思ッ
テ居リマス、暫ク彼等ノ冷靜ニ戻ルノ
ヲ待ツテ、徐ニ理ノアル所ヲ説クヨリ外
ナイカト思ッテ居リマス、堀切君ノ御説
決シテ合理的デナイトハ申シマセス、
合理的ノ御説ト思ヒマスガ、只今ノ所
ハ向フノ事態カラ見レバ、暫ク現在當
局トシテ執ラントスル處置ガ最モ適當
ナモノデモアルト、斯様ニ考ヘテ居リ
マス

○堀切委員 モウ御仕舞デアリマス、
印度ノ方デ若シ萬一綿絲布其他ノ稅ヲ
掛ケテ行ッタト云フ場合ニ、日本デモ然
ラバ銑鐵ニ課稅スル、斯ウナリマシタ
際ニハ、所謂關稅戰爭ノ端ヲ開クコト
ニナリハセヌカ、ソレヨリハ今日ノ所
此方モ相當ニ進ンデ、向フデ掛ケル限
度マデ掛ケテ行ク、是ガ正當デアルト
云フコトハ何人モ議論ノ餘地ハナイ、
是ハ反對シヤウハナイノデアアル、之ニ
對シテ反對運動ヲ起シタ所デ一時ノコ
トデ、何時カ諒解サレルニ相當ナイ、唯
日本デ處アリト申シマスガ、却テ此
際ニ餘リ御心配ヲナサツタ爲ニ、私ハ左
様ナ關稅戰爭ナドノ「チャンス」ヲ造ル
コトニナリハセヌカト考ヘラレルノデ
アリマス、併シ私共ハ印度ト關稅戰爭
ノアリ得ベシナドトハ考ヘル譯ハナ

ラ、ソレデ宜イト云フ御答デアリマシ
タガ、是デ宜イト云フダケデハドウモ
合理的ニナリマセヌカラ、モウ少シ數
字ニ付テ御尋シタイト思ヒマス、昨日
政府カラ戴キマシタ關稅ニ對スル各國
ノ沿革表ヲ見テモ、亞米利加ノ如キハ
初メ三十三弗ト云フノガ漸次下ッテ、或
ハ無稅ニナッテ居ル場合モアリマスガ、
此表ヲ見テモ一時的ニ非常ニ徹底シタ
保護政策ヲ執ッテ、産業ノ發達ニ連レテ
無稅ニ立至ルト云フコトガ、製鋼政策
ノ上ニ成功スルモノノヤウニ考ヘマ
ス、我國ニ於ケル鋼材事業ニ對シテモ、
當業者ナドカラ度々政府ニ意見ヲ申出
テ居ル筈デアリマスガ、三年五年ト年
限ヲ切ッテモ宜イカラ、一時ニ十分發達
スル程度ノ保護ヲスル必要ガアルト考
ヘマス、英國ノ如キハ輸入禁止ヲシテ
居ル場合モアリマス、輸入禁止ニ依テ
保護スルコトモ必要ト考ヘマスガ、ソ
レニ付テハ復タ政府ノ意見ヲ聞クコト
ト致シマシテ、假ニ條及竿ヲ一割八分
ニ當ル所ノ引上ゲニ依テ、果シテ生産
費ガ償ッテ居ルヤ否ヤト云フ數字ノ
根據デアリマスガ、草案ノ問題ハ十分
分リマセヌケレドモ、假ニ専門家ノ意
見ヲ徵シテ見テモ、現在最モ安ク條及
竿ヲ製造シテ市場ニ出ストシテモ、一
噸ノ生産費ガ昨今ノ値段段九十五圓位
掛ル、ソレニ多少金利ヲ見ルト、ドウシ
テモ百八圓ハ一噸ノニ掛ルト云フコト
デアリマス、然ルニ爲替ノ關係ハ、爲替

其モノカラ云へバ、平調ニ復シテ居ルケレドモ、輸入ノ側カラ云へバ非常ニ安ク這入ルコトニナルカラ、ソレニ依テ我國ニ這入ル輸入額ハ約八十圓ト見當ヲ付ケテ、其差額ガ三十圓近イ、二十四、五圓カラ三十圓近イ間ノ開キガアリマス、サウスルト此生産費カラ考ヘテ、一割八分ノ保護デハ、未ダ一噸二十五圓乃至三十圓近イ保護ニシカナラヌカラ、外國カラ這入ル鋼材ト、内地デ生産スル所ノ安ク見積タタ生産費ノ間ニ、モウ少シ保護ヲシナケレバ生産費ノ開キガ保護サレヌコトニナルデアリマス、ソコデ折角保護シヤウト云フ精神ガアツテモ、モウ一ト息ト云フ所デ保護サレズニ此事業ガ起ラヌコトニナリマスカラ、モウ少シ上ゲル方ガ宜イト思ヒマス、一時的ニ或ハ三年五年ト年期ヲ切ツテモ宜イカラ、鐵ガ内地ニ於テ獨立スルヤウナ方法ヲ執ルノガ宜クハナイカト思ヒマス、詰リ結論ハ生産費ヲ合セテ見テ、噸三十圓アレバ結構ダガ、假ニ銑鐵ガ七圓ノ保護ガアルトスレバ、其七圓カラ計算シテモ百斤ニ付テ一圓十錢デハ足りナイノデアリマス、是ハ「ワイヤロップ」其他ノ物ニ對シテモ同様ナ議論ガ成立ツト思ヒマスカラ、此點ヲ一應伺ツテ置キタイト思ヒマス

○三井鑛山局長 只今岩切サンノ御尋デアリマスガ、仰セノ通り生産費ト輸入價格ヲ對比致シテ、其間ノ開キニ對シテ關稅ヲ課スルト云フコトハ、一般的標準ニナツテ居リマスガ、只今御述べニナリマシタ數字ハ、吾々ノ調査致シテ居リマスル所トハ違フヤウデアリマス、沖着其他ニ付テ輸入價格ヲ調ベタノデアリマス、大正十一年後半期ヨリ十二年上半期マデノモノト、十三年ノ平均額ト、十四年ノ上半期ノ平均價格モ取調ベタノデアリマス、御承知ノ通り大陸ノ物デ近來安イモノガ這入ッテ來ル結果、ソレ等ノ標準ヲ見テ、内地ノ生産費ヲ吾々ノ見ル所ト較ベテ見ルト、只今仰セノ通り三十圓ト云フヤウナコトハ出テ來ヌト思ヒマス、此關係カラ現在ノ一割八分ハ相當デハナイカト思ヒマス、爲替ノ關係ノ御話モアリマシタガ、此爲替ニ付テモ先般來大藏大臣カラモ御答ニナツテ居リマスガ、平價殆ど四十八弗ト云フヤウナ爲替ノ關係ヨリ、之ヲ計算ニ置イテ見テ居リマス、當業者ノ說モアリマセウガ、吾々ノ考デハ、現在ノ所デハ例ヘバ條竿ニ於キマシテモ、一割八分ハ適當ト思ヒマス

○岩切委員 ソレデハ數字ヲ一ツ書イテ下サイマセヌカ、私ハ斯ウ考ヘルノデアリマス、鐵ト云フ工業ハ、普通ノ商人ヤ製造業者デ出來ルモノデナクシテ、斯界ノ「オーソリチー」ト云フヤウナ連中ガ學問其他ノ經驗カラヤツテ居ル仕事デアツテ、素人ノ出來ル仕事デハアリマセヌ、例ヘバ鐵鋼協會代表者ノ作ラレタル表ニ依テ見テモ、鋼鐵ノ値段ガ噸百二十五圓位ニ書イテ居リマスガ、是モ多少高イト考ヘマス、私ノ請フ數字ハ此方ノ數字デハナク、ソレヲモウ少シ昨今ノ製造價格ニ直シテ見テ、私ハ百八圓ト踏シタノデアリマス、日本鐵鋼協會ノモノハ、百二十五圓トナツテ居リマスガ、私ハ百八圓ト踏シタノ、外國カラ這入ルモノヲ八十圓ト見テ、爲替關係ヲ四十八弗ト見テモ尙ホ二十八圓ダケ差ガアルヤウニ考ヘマス、是ハ數字ノ問題デアリマスカラ、表ニシテ戴イテモ宜ウゴザイマス、是デ私ハ終リマス

○竹内委員 一寸御尋致シマス、四百六十二ノ五トアリマス中ノ甲ノ一ノ中ニ「イ」ト云フノガアリマシテ、銑素鋼板「金重量百分中銑素ノ重量一以上ノモノ」トアル、之ニ付テ伺ヒマス、此銑素鋼板ノ銑素重量百分ノ一以上ノモノト云フコトニ付テハ、當局ハ十分御承知ノコトト考ヘマスルガ、是ハ全ク電氣機ニ必要ナル材料トシテ特ニ之ニ極メテアルモノト考ヘルノデアリマスガ、實際當業者ノ用ユル原料ハ百分中〇・八以上ノモノヲ事實ニ於テ使ッテ居リマス、然ルニ規定ガ百分ノ一デアアルガ爲ニ、實際ハ「ロ」ノ「其ノ他」ヲ適用サレルガ爲ニ電氣機製造業者ハ餘程困ッテ居ルノデアリマスガ、特ニ之ヲ百分中重量一以上ヲ〇・八以上ニ御直シ下サルコトノ御考ハナイデゴザイマセウカ、其點ヲ伺ヒタイノデゴザイマス、一體此板ヲ銑素ノ重量デ區別ヲ付ケルト云フコトハ、理論的ニハ寧ロ不合理デアツテ、本來ヲ云フナラバ電氣絕緣力ノ多少ニ依テ區別ヲ付ケルノガ至當デアリマスガ、ソレハ頗ル煩雜ナ手數ヲ要スル次第モアリマスガ、要スルニ之ヲ百分中〇・八ト云フモノニ改正サレルナラバ、全ク當業者ノ本當ノ需要ヲ充スコトガ出來ルノデアリマスガ、其邊ニ關スル政府ノ御意見ヲ伺ヒタイ

○矢部政府委員 銑素鋼板ニ付キマシテ、銑素ノ分量ニ關シマシテ御尋デアリマスガ、發電機等ニ使ハレマス銑素鋼板ノ銑素ノ分量ハ種々ゴザイマス、振動力ノ強イ所ニハ銑素ノ澤山這入ッタ脆イモノハ不適當デアル所カラ、斯様ナル場所ニハ銑素ノ分量ノ少イモノヲ使ヒ、振動ノ少イ所ニハ銑素ノ分量ノ強イモノヲ使フ、或場合ニハ銑素ノ分量ノ高イモノヲ使ヒ、或場合ニハ銑素ノ分量ノ低イモノヲ使フ、斯様ニ下方カラ上ノ方マデ勘定シマス、五位マデ達スルノデアリマス、何處ヲ以テ境界ト致スト云フコトハ問題デアリマスケレドモ、低イモノハ容易ニ出來易ク、且ツ普通ノ鐵ト區別シ難イノデアリマスカラ、先ヅ一位即チ原案ヲ以テ適當トシタ次第デアリマス、尙ホ當業者ハ銑素ノ分量ヲ以テ規定スルコトハ宜シクナイト云フコトヲ申シテ居リマシテ、鐵損等ヲ標準トスルト云フコ

トガ宜シイト云フ論モアリマスガ、之ニ付キマシテハ吾々モ研究致シタノデゴザイマスガ、非常ニ手數ノ掛カルト云フコトト、鐵損ナルモノヲ標準ニスルノモ、硅素ヲ標準ニスルノモ大シタ差ハナイ、殊ニ營業者ハ硅素ノ分量ヲ以テスルヨリハ鐵損ヲ標準ニシテ掛カレバ、税關ニ於テ自然檢査ヲスルコトニナル、左様ニナレバ鐵工所ニ於ケル檢査ヲ省クコトガ出來ル、營業者ハ斯様な機械ヲ備ヘルコトガ出來ナイカラ、税關ニ於テ斯様な機械ヲ備ヘヨト云フ勝手ナコトヲ申シテ居ルノデアリマスガ、兎ニ角硅素ノ分量ヲ以テスルコトガ簡便ニシテ宜シカラウト思ヒマス

○竹内委員 鐵損ノ分量ニ依テ綿密ナル檢査ヲヤルト云フコトニ付テハ、大變機械的ノ設備ガ必要デアリマス、強ヒテ之ヲ主張スル譯デハアリマセムガ、現在ノ電氣機械ノ製造業者ノ扱ッテ居ル原料○八マデヲ要スル狀態デアリマスカラ、此事情ハ産業發達ノ爲メ特ニ御認メ下スツテモ別ニ弊害ノ起ルモノデハナイト考ヘマス、御考慮ヲ願ハレマセヌモノデゴザイマセウカ

○黒田政府委員 此點ニ付キマシテハ、御承知ノ通り昨年三月英吉利ノ協定ガナクナリマシタ際ニ、應急ノ改正ヲ致シマシタトキニ、硅素ノ重量百分ノ一ト云フコトニ改正ヲ致シタノデアリマス、爾來マダ一年僅カニナルカナ

ラスカト云フ風ナ狀況デアリマスカラ、モウ少シ之ノ實況ヲ見テ、其上デ考慮ヲ致シタイ考ヲ持ッテ居リマス

○竹内委員 今少シ考慮ラシテカラト云フコトハ御尤デアリマスガ、是ハ他ニ弊害ガ特ニアルモノデモナイノデアリマシテ、又今日ノ改正ノ機會ヲ失ッタルバ、又十年位掛カルコトト思ヒマスガ、實際ノ現狀ガ營業者ノ異口同音ニ言フ通りデアリマスカラ、他ニ害ノナキ限リ御採用ヲ下サル方ガ、我國ノ産業振興上適當ト思ヒマスガ、サウ云フ餘地ハナイノデアリマスカ、或ハ政府ハ是デ十分産業ノ實際ニ適スルト云フ御考デ御出デアリマセウカ

○黒田政府委員 先程御答申シマシタヤウニ、昨年三月改正致シマシテ以來今日ニナッテ居リマスガ、マダ非常ニ是ガ爲メニ不都合ノ結果ヲ生ジテ居ルトハ考ヘテ居リマセム、唯今回ノ機會ヲ失シタナラバ又十年モ据置カレルノデヤナイカト云フ御話デアリマスガ、之ニ付キマシテハ來年度ニ於キマシテハ、常設ノ委員會モ設ケラレルコトト考ヘマスノデ、ソレデ以テ尙ホ實際ノ今後ノ狀況モ調査致シマシテ、改正スルコトガ適當デアルト云フ風ナ結果ヲ得マシタナラバ、近キ機會ニ於テ改正モ出來ルト考ヘテ居リマス、先程申上ゲマシタヤウニ、マダ一年ニナルカナラヌノデアリマス、而モ其間非常ニ不都合ヲ之ニ依テ來シテ居ルトモ考ヘテ

居リマセム、デアリマスカラ今日ニ於キマシテハ、此原案ノ程度デ適當デハナカラウカト考ヘテ居リマス

○竹内委員 實際不都合ハナイト云フコトヲ今仰セデアリマスガ、ソレハ此百分ノ一ヲ超ユルモノハ「其ノ他」デ高イ税金デアルケレドモ仕方ガナイ、ソレデ濟マシテ居ルノデアリマシテ、事實仕事ガ出來ナイト云フ譯デハ決シテナイノデアリマス、其處へ行ッテ僅カ○・二ノ爲ニ直グ此六倍モ七倍モ税金ガ掛カルト云フコトハ、如何ニモ當業者ニ對シテ氣ノ毒ナコトト思ヒマス、事實ハ無論御規則ガアリマスカラ致シ方ナイ、高イ金ヲ拂ッテヤッテ居ルノデアリマスカラ、ソレデ差支ナイト云フ御考ハ少シ違ヒハシマセムカ

○黒田政府委員 御話ノ通り若シ之ニ少シデモ足りナイモノガ參リマシタナラバ、ソレハ「其ノ他」ノ中ニ這入ルノデアリマスガ、併ナガラ此規定ニ依リマシテ電氣ニ使ヒマス鐵板ノ大部分ト云フモノハ安クナッテ居ルノデアリマス、「其他」ノモノニ付キマシテハ内地ニ於テ生産ノ見込モアルノデアリマス、一概ニ今日總テ之ヲ徹底ノニ安クシテシマフト云フコトモハ考ヘモノデハナカラウト思フノデアリマス、先ヅ此規定ニ依リマシテ、一方ニ於キマシテハ、電氣ニ使ハレマス鐵板ノ大部分ガ——今日出來ナイ大部分ハ救済サレテ居ルノデアリマスルシ、又一方ニ

於キマシテハ之ニ依テ内地ノ生産ノ見込アルモノハ順次生産ガ出來テ來ルト云フコトニモナルノデアリマスカラ、今日ニ於キマシテハ此程度ガ適當デハナカラウカト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○竹内委員 此上御尋致シテモ仕方ガアリマセム、今一ツ伺ヒタイノハ、次ノ六ノ線デアリマスルガ、此問題ハ沼田サンカラ御尋ガアリマシテ濟ンダト云フ御話デアリマスガ、尙ホ少シ了解致シマセヌ點ガアリマスカラ伺ヒタイ、此亞鉛鍍ノ線ノ工業ハ中々發達シテ參ッテ居ルシ、又是ハ一般社會ニ於ケル生活上ノ必需品デアル品物デアリマスルノデ、出來ルダケ此工業ヲ早ク輸入品ニ壓倒セラレナイ程度ニ發達サセルト云フコトハ、非常ニ肝要ノコトト存ジマス、然ルニ是ガ原料タル「ワイヤロップ」ト同ジ税デアルト云フコトハ、如何ニモ此工業ヲ發達セシメル所以デナイト思ヒマス、何カ此邊ニ付テノ御考慮ガアッテ然ルベキモノト考ヘマスガ、之ニ關スル政府ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○三井鑛山局長 先日御答シテ置キマシタガ、尙ホ簡單ニ御答致シマス、此四ト線トノ關係ハ從來一割五分デアッテ、同列ノ税ヲ課セラレテ居マシテ、サウシテ線ノ方モ兩方共ニ相當發達ラシテ參ッテ居ルノデアリマス、今回ノ一割八分ニ同列ニ改正ニナリマシタ結果ト致

シマシテハ、現行法ニ依リマスルト云フト、原料ト此線ノ差額ト云フモノガ約十二圓四十錢バカリニナツテ居マス、今度ノ改正案ニ依リマスと云フト、更ニ十四圓八十錢バカリノ勘定ニナツテ参リマス、サウ致シマスと以前ヨリモ尙ホ二圓四十錢ノ差ガ出テ参リマス、是ナラバ差支ナイダラウト云フ考ヲ持ッテ居ルノデゴザイマス

○竹内委員 大體其線ト「ワイヤロップ」トノ關係ハ或ハソレデ宜イト思ヒマスガ、其線中亞鉛鍍トカ云フ特別ノ工業ニ對スル分ガ、ドウモ少シ是ハ薄クハナイカト云フ點ヲ伺ヒタイノデアリマス

○三井礦山局長 御尤デゴザイマスガ、今此處ニ數字ヲ一寸御示シスル譯ニ参リマセヌガ、矢張同ジヤウナ傾向ヲ持ッテ行クコトト信ジテ居リマス

○竹内委員 後カラ一ツ數字ヲ一寸拜見致シタイト思ヒマス

○橋本委員 竹内君ノ質問ニ關聯シテ御尋致シタイト思ヒマスカラ、御許ヲ願ヒマス

○竹内委員 一寸御待チ下サイ、委員長只今ノ御許ハ四百六十二ダケデアリマス
○加藤委員長 今ノハ四百六十二ダケデアリマス
○竹内委員 他ニ對スル質問ハ又後ニナリマス
○加藤委員長 四百六十二ガ濟メバ進

ミマス
○竹内委員 ソレデハ私ハ是ダケニシテ置キマス

○橋本委員 四百六十二ニ付テ私共ハ之ヲ直シテ貫ヒタイト思ヒマス、四百六十二ノ二デゴザイマスガ、特殊銅、其第一ハ原案通りデ宜シウゴザイマス、二ト云フノガ「全金量百分中炭素ノ金量〇・七以上ヲ含有シ且燐及硫黃ノ各金量〇・〇二以下ノ塊、錠、條及竿」等

之ヲ斯ウ云フコトニ改メテ載キタイト思ヒマスガ、一遍御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス、「全金量百分中炭素ノ重量〇・五以上ヲ含有シ且燐及硫黃ノ各金量〇・〇四五以下ノ塊、錠、條及竿」ト、

サウシテ從價ハ矢張一割八分、是ハ只今御回答ヲ求メル譯デハアリマセヌカラ、ドウゾ御考置キヲ願ヒマス、ソレカラモウ一ツ伺ヒマスガ、四百六十二、鐵、其中二ノ條及竿、此次ニ更ニ一項ヲ設ケテ載キタイ、ソレハ「冷體引拔磨棒銅」斯ウ云フ一項ヲ設ケテ載イテ、從價稅一割八分ニスル、ドウゾ御考置キヲ願ヒタイ

○加藤委員長 ソレハ參考デスネ——サウスルト四百六十二ノ質問ハ終了致シマシタ

○森委員 私ハ尙ホアリマス、商工大臣ガ御出デアリマセヌカラ、外務省政府委員ニ御尋致シマス、只今堀切君等ノ應答ノ間ニ看取致シタノデアリマスガ、英吉利政府カラ或ハ印度官憲カラ

別ニ交渉ガアッタノデハナイ、唯外務省ノ方ガ印度ノ事情ヲ御考ヘニナツテ、多少冷靜ヲ缺イテ居ル、其反省ヲ促ス意味ニ於テ、彼等ノ感情ヲ唆ルヤウナ態度ヲ執リタクナイト云フ御氣付デ以テ、此關稅共濟會デアリマスガ、其方ニ御注意ニ相成ッタト云フダケデアアル、斯様ナ風ノ御説明ノヤウニ私ハ判斷致シタノデアリマスガ、大體左様デアリマスカ——サウ致シマスルト私共ハ隨分不安ヲ懷クノデアリマスガ、不安ノ點ニ付キマシテ申上ゲルコトハ次ニ致シマシテ、希望トシテ外務省ノ御意見ヲ伺ヒ、外務省ニ御反省ヲ願フテハ如何デア

ルカト思ヒマスルノハ、只今堀切君ガ申シマシタ通り、今上ゲズニ置イテ、向フガ吾ミノ爲ニ不利益ナル行動ヲ取ッタトキニ、又此方ガ上ゲルト云フヤウナ態度ヲ取リマシテハ、是コソ全ク報復的態度ヲ交換スルコトニナルノデア

テ、國ノ爲ニ決シテ利益デハナカラウト思ヒマスガ、一體斯様ナ經濟問題ハ、殊ニ此經濟問題ノ銳イ——吾ミヨリモ數百年ノ先キノ經驗ヲ持ッテ居リマス

ル英吉利人ニ取リマシテハ、歸結スベキ點ハ吾ミ以上ニ能ク冷靜ニ判斷シ得ルノガ英吉利人ノ特性デアルト私共ハ信ズルノデス、其英吉利人ヲ向フニ廻シテノ事柄ナノデアリマスカラ、寧ロ上ゲルベキ當然ノ合理的結果ニナル此問題ノ如キハ、宜シク日本ノ態度ヲ明カニ説明致シテ、上ゲベキ時ニ上ゲテ

シマツテ、ハッキリサレルコトガ、我國ノ爲ニナルデアラウト考ヘル、然ラズシテ唯一時ノ感情ヲ豫想シ推斷シテ、ソレニ依テ日本ニ取ッテ重大ナル事件ヲ左右スル如キ方針ヲ執ラレルコトハ、吾ミハ不安ニ堪ヘナイノデアリマス、ソレデ此際ハハッキリ事情ヲ説明シテ、諒解ノ下ニ上ゲルト云フ態度ニ出デラレンコトヲ望ムノデアリマスガ、御意見ヲモウ一應伺ヒマス

○矢吹政府委員 公開ノ席上ニ於テ餘リ立入ッテ申上ゲルコトハ憚リマスノデ、御答辯申スコトモ忌憚ナク申上兼ネル次第デアリマスガ、大體ニ於テ吾

吾ノ所信ハ此席ニ於テ申上ゲテ置キマシタ、只今森サンヨリ外務省ノ執ッタクトハ森サンノ御考ヘニナツテ居ルコトト行キ方ヲ異ニシテ居ルト云フ意味カラ御質問ガアリマシタガ、實ハ森サンノ御説ノ如ク、英國人ハ永年ノ經驗上、

商工業ニ對スル知識經驗カラ十分物ノ利害得失ハ分ル筈デアアル、隨テ此際鐵ノ關稅引上等ヲ先ヅ第一ニヤツテ、其意味ヲ十分説ケバ分ラナイコトハアルマ

イ、寧ロ外務省ノ執ッタ處置ガ誤ッテ居ルト云フ御話デアリマシタガ、吾ミモ英國人ガ永年ノ經驗上算盤ノコトヲ理解スル國民デアアルコトハ承知シテ居リマス、隨テ此際印度ノ關稅、綿絲布ノ關稅ニ對シテモ、必ズ英國人ハ的確ナル判斷ヲ以テ之ヲ誤ラズニ往クベキモノデアラウカト、此點ニ期待ヲ持ッテ居ル

ノデアリマス、而シテ此際印度ニ於テ日本ノ綿絲布ニ對スル關稅問題ヲ非常ニ重大ノ如ク取扱フテ居リマスコトハ、吾ミカラ見マスト實ハ不思議ニ思フ、何トナレバ日本カラ印度ニ這入ル綿絲布ノ量ハ其總量カラ言フト左程ノ分量デハナイ、日本カラ參ル綿絲布ハ、今日ニ於テハ印度デ生産サレル綿絲布ト競争ノ位置ニ立ツガ如キモノハ、日本カラ出ス總輸出量カラ言ヘバ、綿絲ニ於テハ約二割位、綿布ニ於テ約三割位デアリマシテ、大部分ハ印度製品ト競争スルノデハナイノデアリマス、是等カラ見マシテモ、印度ニ於テ日本ノ綿製品ニ對シテ關稅ヲ引上ゲネバナラヌトカ、或ハ日印條約ヲ廢棄セネバナラヌトカ云フヤウナコトハ、道理上アリ得ベカラザルコトデアルト思フテ居リマス、ソレ故ニ十分其道理ヲ説イテ見タナラバ、分カル時ガアラウカト、ソコニ吾ミハ期待ヲ持ッテ居リマスノデ、此理解ヲ得セシムベク印度ニ居リマス日本ノ領事竝ニ日本關係商人ハ、極力印度人ノ冷靜ナル判斷ニ訴ヘ、利害得失ノ存スル所ヲ説イテ居リマス、而シテ「カルカツタ」方面ニ於テノ銑鐵製造業者ハ、銑鐵ノ日本ニ輸出サレル利害關係上、綿絲布ノ關稅引上運動ニ對シテ是亦反對ノ態度ヲ執ッテ居リマス、此點ニ於テ日本ガ綿絲布關稅ノ引上ヲ阻止セントスル態度ト一致シテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ此際ハ我政府ハ出來ルダケ冷

靜ニ彼等ノ反省ヲ來スベキ時期ヲ徐ニ待ッテ、而シテ吾ミノ害ニナル結果ヲ生マナイヤウニ出來ルダケ之ヲ阻止スルコトガ此際執ルベキ最モ適當ナル處置デアルト考ヘテ居リマシテ、斯ル見地ヨリ銑鐵關稅ノ問題ノ如キハ大ニ考慮シナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、先程森サンノ御説ハ一應御尤デアリマスケレドモ、當局ガ考ヘマシタノハ左様ナ考方カラデアルト云フコトヲ御了解ヲ願ヒマス

○森委員 只今政府委員ノ御説明ヲ承リマシテ、私ハ吾ミノ考ヘテ居ルコトガ寧ろ筋道デアルト云フコトヲ考ヘルノデアリマス、政務次官ハアア云フ質ノ英國人デアルカラ、能ク説明スレバ理解ヲ得ラレルデアラウト云フ自信ヲ持ッテ居ル、殊ニ問題ニナッテ居ル綿絲布其他ノ關係ニ於テモ、實際英國又ハ印度ニ大シタ利害ノアルベキ筈ハナイ、又「カルカツタ」方面ノ銑鐵ニシテモ、其量ハ少イカラ英國ガ日本ノ不利ニナル方針ヲ執ル筈ガナイト云フコトヲ次官モ御認ニナッテ居ルコトニナル、唯是モ前段ニ言ハレタ通り冷靜ヲ缺イテ居ルカラ、反省ヲ促ス意味ニ於テト云フコトガ主タル理由ニ過ギナイ、併シス様ナコトデ此大問題ヲ解決スルコトハ私ハ無益ドコロデハナイ、有害デアルト思フ、外務省ガ經濟問題ト云フ如キ其所管以外ノ問題ニ口ヲ出サレル場合ハ、餘程御考ヲ願ハナケレバナラ

ヌコトハ、第一斯ウ云フ相對的ノ結論ヲ考ヘテ往キマス問題ニ向ッテハ、英國或ハ植民地ヲ含シテ英國ト云フモノト、日本ノ國情ト、ドウ云フ關係ニ在ルカト云フ全體ノ利害カラ割出シテ判斷スルコトガ當然ト思フ、外務省ハ必ズサウ考ヘテ居ラルルニ相違ナイ、然ルニ近來外務省ガ各種ノ問題ニ付テ執ラレテ事務的ニ解釋シテ居ラレル、サウシテ其考ヘラレルコトト、其爲サレル所ト往々反對ニナッテ居ル、即チ此銑鐵ニ對スル問題ノ如キモノレデアル、今日支那問題ニ於テモ、支那ニ居ル英吉利人ノ利害ト、日本人ノ利害トハ一致シナイ、シナイニモ拘ラズ、我が政府ハ大體ニ於テ英吉利本國ノ即チ英吉利全體ノ利益ト、日本ノ利益ト一致スル爲ニ、支那ニ居ル英吉利人ノ局部ノ利害ヲ度外視シテ、色々ナ政策ヲ立テテ居ラレルト云フコトハ、公知ノ事實デア

ル、印度ニ於テモ尙ホ然リト考ヘル、若シ全體ノ利益ト云フコトカラ言フタナラバ、外務省ハ斯様ナ點ニハ餘リ喙ヲ出サズ、日本ノ國情ニ必要トスル所ヲサシテ置イテ、ソレニ依テ生ズル故障ニ對シテハ、外務省ガ身ヲ以テ緩和シテ調和シ、除去スルコト云フ善後策ヲ講ゼラレルト云フ態度ガ至當デアアル、然ラズシテ斯様ナ處置ヲ執ラレルト云フコトハ、非常ナ外務省ノ誤リデアルト思フノデアリマス、斯様ナ意味ニ於テ最近

支那ニ於ケル政治問題ナドニ對シテ、外務省ガ陸軍省ヲ壓迫シタノデハナイカ、陸軍省ノ方針ヲ誤マラシタノデハナイカト云フヤウナ氣付ガ非常ニ多イ、經濟問題ニ於テモ幾多モアル、ソレヲ非常ニ遺憾トスルノデ、機會ノアル度毎ニ此點ニ付テ外務省ノ反省ヲ促シテ居リマスケレドモ、何時モ事務的ニ遁ゲテ、極メテ不深切ナ態度ヲ以テハツキリト仰シヤラナイ、若シ斯様ナ經濟問題カラ考ヘテ見ルト、鐵ノ問題ナドハ最モ重大デアアル所ノ鐵石ノ供給——今日鐵ノ問題カラ行クト、鐵石ヲ安全ニ日本ニ供給シ得ルモノハ支那ダケデア

アル、朝鮮ノ鐵石モ、或ハ俗ニ言フ南洋ノ鐵石ノ如キモ、種々ナ點ヲ考察スルト決シテ安全デハナイ、日本内地ノ鐵石モ安全デハナイ、比較的安全デアアル確實デアアル鐵石ハ支那デアアル、所ガ此支那ガ日本ニ鐵石ヲ供給シテ來ル態度ヲ見ルト、全ク禁止ノ態度ヲ取ッテ居ル、其禁止ノ態度ヲ取ッテ居ルコトニ對シテ、日本ノ外務省ハ何ヲシテ居ルカ、何モシテ居ラナイ、傍觀ノ態度デアアル、鐵石一噸輸出スルニ付テ一圓前後ノ重稅ヲ課シテ居ルコトヲ見テ居ル、又支那ノ鐵山開發ト云フコトニ向ッテ、重大ナル關係ヲ持ッテ居ル鐵山條例、日本ノ鐵業法トデモ申シマス、斯様ナ問題ニ向ッテ日本ノ外務省ハ當然抗議スベキハ抗議シ、日本ノ都合ノ好イヤウニ努メナケレバナラヌニ、殆ド十何年間傍觀

シテ居ル、鐵石ノ供給ニ對シテ、日本ノ外務省ハ何ヲシテ居ルカ、何モシテ居ラナイ、傍觀ノ態度デアアル、鐵石一噸輸出スルニ付テ一圓前後ノ重稅ヲ課シテ居ルコトヲ見テ居ル、又支那ノ鐵山開發ト云フコトニ向ッテ、重大ナル關係ヲ持ッテ居ル鐵山條例、日本ノ鐵業法トデモ申シマス、斯様ナ問題ニ向ッテ日本ノ外務省ハ當然抗議スベキハ抗議シ、日本ノ都合ノ好イヤウニ努メナケレバナラヌニ、殆ド十何年間傍觀

的態度デ、聞イテ見テモドウナッテ居ル
カ分ラナイト云フ有様デアル、農商務
省ニ於テモ、先日私ハ豫算分科會デ商
工大臣ニ伺ッタガ、答辯ガ出來ナイ、知
ラナイ、何故ニ此重大ナル問題ニ外務
省ハ冷淡デアルカ、少シモ考慮シナイ
ノデアアルカ、何故今ノ支那ノ鑛業法ガ、
日本或ハ諸外國ニ不利益ニナッテ居ル
ノニ、傍觀的態度デウッチャツテ置クカ、
少シモ理由ガナイ、此問題ノ如キハ印
度ニ於ケル今問題ニナッテ居リマスモ
ノニ比較シタナラバ、更ニ重大ナル事
柄デアアル、殊ニ私ガ茲ニ不可解ニ堪ヘ
ナイノハ、農商務省ノ或ル官吏ガ——
技術者デアアル、支那ノ鑛石ノ供給ガ不
安全デアアルノハ、經營者ガ經營ノ方法
ヲ誤ッテ居ル、ソレガ爲ニ經營上カラ來
ル不安ガアツテ、投資モ安全ニ出來ナイ、
隨テ資金ノ關係ニ於テ不安バカリデア
ル、我ガ政府ハ殊ニ大藏省ガ迷惑ヲ感
ジテ居ルト云フヤウナ意味ノ意見ヲ、
印刷物ヲ以テ發表シテ居ラレルノデア
アル、私ハソレヲ拜見シマシタガ、是ナド
ハ非常ニ誤ッテ居ル、支那ノ鑛山ガ何故
ニ經營ガ不安カト申シマス、全ク鑛
業法ガ間違ッテ居ル、鐵山ノ如キニ至ッ
テハ禁止のノ一ツノ特殊臨時法ト云フ
ヤウナ性質ノモノガ存在シテ居ルガ故
ニ經營ガ困難ニナッテ居ル、其本ヲ正サ
ズシテ、徒ニ支那ノ楊子江沿岸一帯ニ
於ケル鑛山ヨリ鑛石ノ供給ヲ得ルコト
ハ、不安全デアルト云フヤウナ意見ヲ

重要ナル地位ニ在ル人ガ平氣デ發表致
シテ居ルト云フ有様デアル、斯様ナ點
ハ少シモ注意爲サレズニ、偶印度ニ於
ケル一部ノ英吉利人等カラ抗議ガ出サ
ルデアアル、或ハ感情ヲ唆リハシナイカ
ト云フヤウナ、所謂他動的ノ刺戟ニ依
テ此重大ナル問題ノ農商務省其他ノ考
ヲ變ヘサスヤウナ行動ヲ外務省ガ御執
リニナッタト云フコトハ、私ハ出過ギタ
事デアラウト思ヒマス、是ハ今後モア
ルコトデアリマスガ、是等ノ點ハ十分
ニ御考ヲ願ヒタイト思ヒマス(工藤委
員「議事ノ進行ニ付テ一言致シタイ」ト
呼フ)私ハ外務省ニ對シテハ質問ヲ此
程度デ止メマス……

○加藤委員長 工藤君

○森委員 私ノ發言中デアリマス

○加藤委員長 議事ノ進行デスカラ

○森委員 私ノ發言ヲ中止サレルノデ
スカ

○加藤委員長 議事ノ進行デスカラ

○工藤委員 私ハ森君ノ御質問ヲ敢テ
阻碍スル意味デハアリマセヌガ、屢此
問題ハ秘密會ニモナリ、種々ナ點ニ於
テ論及セラレ質問モセラレタ問題デア
リマス然ルニソレヲ再ビ繰返スト云フ
コトハ——今日漸ク委員ニ代ッテ來テ、
又前ノ委員ト同ジヤウナコトヲ繰返ス
ト云フコトハ、議事ノ進行上甚ダ困ル、
應テ今一兩日ノ中ニ是ハ終了スルノデ
アル、ノミナラズ其質問ノ要旨ト云フ
モノハ質問デハナイ、議論デス、昨日モ

大概吾々ハ本會議デ當テラレテ、更ニ
此處ニ來テ又ヤラレルト云フコトハ、
言論ハ如何ニ自由デアッテモ、此重大ナ
ル法案ニ對シテハ殆ド吾々ハ二十回モ
掛カッテヤッテ居ル、今ノヤウナサウ云
フ討論ヲ又繰返スト云フコトハ、寔ニ
場所柄ヲ知ラナイ態度デアルト考ヘテ
居ル、故ニ私ハ敢テ言論ヲ妨害スル意
味デハナイガ、サウ云フ議論ハ幾ラモ
本會議デモヤレルシ、又豫算會デモヤ
ラレタラウシ、色々ヤッテヤリ盡シテ居
ルノデアアル、外務省ヲ取ッテ審メテ見
イト云ウテヤリタイナラバ、幾ラモ場
所ガアル、吾々ハ是ハ懇切丁寧ニ生活
上大關係アル問題ヲヤッテ居ルノデア
ルカラ、餘リ空想的ナ理想のナ、遠イ質
問ハヤメテ、此案ニ付テ直接ノ質問ヲ
ナサルナラバ吾々モ傾聴スル、ソレモ
森君ガ前カラ來テ前後ノ關係ヲ知ッテ
居ラレルナラバ宜シイガ、漸ク今日來
テ、同ジコトヲヤッテ居ル、此流儀ナラ
バ——反對黨ノ言論ニ相當ニ尊重ヲ拂
フケレドモ、是デハ堪ルモノデハナイ、
マダ段々重要法案モ出テ來ルノデアアル
カラ、好イ加減ニ御互ヒ持合ヒデ演說
ヲシ合ッテ、現實ノ問題ニ對シテ質問ヲ
進メタイト思ヒマス(「現實ノ問題ダ」
ト呼フ者アリ)現實ノ問題デ重要問題
タルコトハ知ッテ居ル、ダカラ餘リ外務
省ト意見ヲ闘ハスヤウナ質問ハ成ベク
保留シテ頂キタイ

○堀切委員 私モ議事ノ進行ニ付テ一

言致シマス、昨日モ竹内君ノ質問ニ對
シテ、既ニ其問題ハ濟ンダト云フ御議
論モアリマシタガ、此一類二類——其
類ニ付テ既ニ先キノ質問者ガ質問ヲ致
シテ居ッテモ、其問題ニ付テ外ノ方面ヨ
リ他ノ質問ヲ致スノハ何トモ仕方ガナ
イノデアリマス、ソレヲドウゾ混同ナ
サラヌヤウニ、必ズシモ銑鐵四百六十
二番ノ類ダカラ、ソレハ既ニ濟ンダカ
ライカヌ、斯ウ云フヤウナ事ノナイヤ
ウニ願ヒタイ、要スルニ質問ノ要旨如
何ト云フコトニ委員長ハ着目セラレン
コトヲ望ミマス

○加藤委員長 堀切君ノ御注意ハ能ク
心得テ居リマス、ソレデ若シ殘ッタ部類
ガアレバ、後デ綜合的ニ質問ヲ願フコ
トニ極メテ居ル、サウデナイト始終跡
ニ立戻ッテヤルト云フコトニナレバ、進
行ガ出來ナイ故ニ、堀切君ノ御注意ハ
能ク心得テ其邊ハ餘リ差支ナイヤウニ
スル積リデアリマスソレカラ只今工藤
君ノ御質問モ……

○工藤委員 又問題ガ起ルト又議事進
行ヲヤルカラソレダケハ御斷リシテ置
キマス

○太田委員 私モ議事進行ニ付テ申上
ゲタイ、只今堀切君カラ御話ガアリマ
シタガ、御承知ノ通り總括的ニ後デ質問
ヲスルト云フコトデアリマシテ、ソレ
デ一旦濟ンダコトハヤラナイト云フコ
トニ申合ヲシマシタ爲ニ、私モ此四百
六十二番ニ對スル質問ヲ繰返スコトヲ

遠慮致シマシタ、既ニ先日ハ此四百六十二ノ十一ニ對スル演説スラ中止ヲ御命ジニナツタウナ形ニナツテ居リマスカラ、若シ御分リニナラナイ所ガアルナラ、又後デ願フコトニシテ、此場合成ベク當面ノ問題ニ就テノミ質問シテ議事ノ進行ヲ願ヒタイト思ヒマス、私ハ森君ノ御質問ハ善意ニ解シマシテ、御存ジナクシテ今日御始メニナツタモノト思ヒマスカラ、森君モ其點ハ御承知ナステ、成ベク現實ノ問題ニ付テ願ヒタイト思ヒマス

○加藤委員長 森君ニ申上ゲマス、只今ノヤウナ議事進行ノ論モアルノデアリマスカラ、貴方ノ御趣旨ノアル所ヲ成ベク簡明ニ御質問ニナツテ答辯ヲ求メテ頂キタイト思ヒマス

○森委員 私人質問ノ内容ニ立入ッテマデ御非難ニナツタノデアリマスガ、是ハ私ハ承ツテ置キマス、私人質問致シタコトハ重複シテ居ルト云フコトデスガ、私ハ餘リ重複シテ居ラナイト思フ、殊ニ重複スル虞ガアルト思ヒマスカラ、私ハ同僚ニ過去ノ質問應答ノ内容ヲ伺ヒ、且ツ速記ヲ拜見ヲ致シタイト思ツタノデスガ、速記ガ十分出來テ居ラナイ、是ハ私人責任デハナイ

「秘密會デ聞イタノダ、モウ少シ深刻ナ所マデ聞イタ」ト呼ブ者アリ」

○加藤委員長 ドウゾ成ベク議論ハシナイデ……

○森委員 外務省ノ質問ハアノ程度デ打切りマス、商工大臣ガ御出席ナイノデアリマシテ、私ノ御尋致シタイト云フ點ガ少シ失望スルノデアリマスガ、先程堀切君ニ對シテ商工大臣ハ製鐵獎勵案デアリマスガ、何ト云フ名前デアリマスガ、法案ヲ最近御出シニナル、併シ二三日中ニハ出セナイト云フヤウナ御話デアッタノデアリマスガ、是ハ此問題ヲ解決致シマスニ於テハ不可分ノ問題デアル、其法案ノ内容實質ヲ伺ハナイ限り、此問題ヲ進メテ行クコトハ困難ダト私共ハ信ズルノデアリマス、デアリマスカラ此會議ニ間ニ合フヤウニ是非共御出シヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○加藤委員長 ソレハ先刻其通りノコトハ御注文ガアッタノデアリマス

○森委員 御注文ガアッタノデアリマスカ、大臣ノ御答ハ、二三日中ニハ間ニ合ハナイ、早ク出ス積リデアルケレドモ間ニ合ハナイ、吾々ガ恐レルノハ、片方ニ於テ片付キツアル、殊ニ此鐵片問題ハ今日打切ルト云ツテ憲政會ノ諸君ハ言ッテ居ル、成ベク早ク御出シニナルコトヲ求ムルコト同時ニ、又製鐵會計法ナルモノハ本案ヲ議スル上ニ於テ不可分ノ問題デアリマス、之ガ出テ來ナケレバ實際問題トシテ日本ノ製鐵事業ノ根本ヲ決メルコトハ出來ナイ、名ハ極ク單純デアリマスケレドモ、實際此製鐵會計法ト云フモノハ重大ナ關

係ヲ持ッテ居リマス、之ナシニ此問題ヲ議サウト云フ態度ガ間違ッテ居ル、ソレハ議論デアリマスカラ又御叱リヲ受ケルトイケマセヌカラ此程度デ止メテ置キマスガ、ソレカラ重複ヲシテ居ルカハ知レマセヌガ、私ガ伺ッタ範圍デハ、ドウモ解ラナイノハ、何故ニ政府ハ鋼ヲ獎勵スルコトニ先決的ニ重キヲ置カレルカ、銑鐵ヲ後ニサレルカ、此點ハ私ハ了解ガ出來ナイ、第二ニ製鐵ノ獎勵ト云フコトガ、銑鐵カラ鋼ニマデ一貫シテヤル、其方針デ行クト言ハレルノデアリマスガ、吾々ハ過去ニ於ケル現行法デハサウデナイ、現在デモ製鐵製鋼ト云ヒマスガ、獎勵法ガアル、ソレモ矢張一貫シタ精神カラ出來テ居ルケレドモ、其ノ結果ヲ得ナイ、結果ヲ得ナイノハ何故カト云ヘバ、即チ一貫シテ行クト云フ方針ガ日本ノ實情ニ適シテ居ナイカラダト私ハ思フ、デ是ハ幾度モ質問シタ人ガアルカ知レマセヌガ、何度質問シタ所ガ政府ガ吾々ヲ納得セシムルヤウナ答辯ヲ與ヘナケレバ、幾度デモ聽カナケレバナラヌ、此點ニ付テモウ一度伺ヒタイト思ヒマス

○橋本委員 委員長、議事進行ニ付テ……

○加藤委員長 チョット暫ク…… 桐瀬次官

○桐瀬政府委員 只今ノ鋼材ノ製造ヲ保護シテ銑鐵ノ方ヲ保護シナイト云フ……

○森委員 保護シナイジヤナイ、後ニスル

○桐瀬政府委員 後ニスルト云フノハドウ云フ理由デアルカト云フコトハデス、森君ハ御聞キニナラヌデアリマシタガ、先日ノ秘密會ニ於テ其徑路ハ詳シク申述べタ、而シテ又今マデ外務省トノ間ニ御質問ニナツタ事柄ニ依テモ御推察ヲ得ラルベキコトデアルト信ズル

○森委員 私人政府委員ノ御答辯ハ多分サウダラウト云フコトヲ思ッテ居ル、ケレドモソレデハ吾々満足シナイ、ソレデハ製鐵ノ獎勵ニアラズシテ曲リナリノ獎勵デアル、他動的ニ掣肘サレタノデアッテ、斯様ナ不徹底ナコトデハ製鐵製鋼ノ獎勵ノ目的ヲ達スルコトハ出來ナイト思フノデアリマス、併シ御答ガ出來ナイト云フナラ此邊デ止メマス

○矢吹政府委員 森サンノ只今ノ御質問ニ對シテ一應辯明的ニ御答申上ゲテ置キマス、先程森サンノ御説ノ中ニ、外務省ガ農林省或ハ商工省等ヲ壓迫シテ斯ノ如キコトニナツタノダト云フ御言葉ガアリマシタガ、是ハ決シテサウ云フコトハナイノデゴザイマシテ、關稅委員會ニ於テ各省ノ者ガ寄ツタ節ニ、各自己ノ省ノ意見ヲ申述べルノデアリマス、其際外務省ト致シマシテハ、此問題ニ對シテ意見ヲ申述べマシタガ、一般委員ノ御考ガ此際銑鐵問題ニ付テハ十

分考慮スル必要ガアルト云フ御考カラ
此案ガ出來タノデ、決シテ聖旨ナドヲ
外務省ハ致シタノデナイト云フコトヲ
茲ニ申上ゲテ御了解ヲ得テ置キマス

○森委員 私ハ止メタノデアリマス
ガ、外務省カラ又仰シヤルカラ申上ゲ
マス、外務省ハ斯ウシテ居ルノダ、ア
シテ居ルノダト斷定的ニ仰シヤルガ、
事實ハ全然反對デアリマス、ソレダケ
ハ申上ゲテ置キマス

○加藤委員長 ソレデハ四百六十二ノ
質問ハ是デ終了致シタモノト見テ……
○山本委員 チョット御待ヲ願ヒマス、
簡單ニ……

○加藤委員長 御質問ガアルノデス
カ、アレバ豫メ御届置ヲ願ヒタイ、サウ
セスト混雜シテ……
○山本委員 出テ居リマス、其所ニ書
イテアリマス

○加藤委員長 來テ居リマセヌ
○山本委員 ニツ書イテアリマス
○加藤委員長 アリマセヌ、來テ御覽
ナサイ、私ノ手許ニハ御届ガアレバ記
シテアリマス

○山本委員 ソレハ貴方ノ勝手デス
○加藤委員長 私人ノ手許ヘ來ナイモノ
ヲ勝手トハ何事デス、失禮ナコトヲ仰
シヤルナ、專横極マル

「モット眞面目ニヤレ」ト呼フ者
アリ
○山本委員 極メテ簡單デスカラ御許
シヲ願ヒタイ

○加藤委員長 宜シウゴザイマス、山
本君

○山本委員 私ガ御尋シタイノハ極メ
テ簡單ナコトデアリマス、四百六十二
ノ一ノ乙及丙、五ノ乙ノ一、七、八、九、
此各種類ガ他ノモノニ比較シテ税率ガ
著シク低イデアリマス、總體的ニ於
テハ一割八分ト云フコトニ御決メニ
ナッタヤウデアアルガ、只今申述べタ各種
類ダケガ特ニ一割以下デアアル、若クハ
從量稅ニ於テ著シク率ガ下ッテ居ル、或
ハ七、八、九ノ「リドワイヤ」ハ五分、
「リボン」ハ一割、「帶」ガ五分ト云フヤ
ウニ稅率ガ他ノモノニ比較シテ著シク
低イデアリマスガ、簡單デ宜シウゴ
ザイマスカラ、低クセラレタコトニ付
テハ必ズ理由ガアルノデアアラウト推察
致シマスガ、其御辯明ヲ承リタイと思
ヒマス

○黒田政府員 只今御尋ニナリマシタ
モノハ、大體中間ノ製品デ、即チ他ノ物
ノ材料ニナルモノデアリマスノデ、少
シク低ク致シタノデアリマス、其中デ
特ニ「五」ノ乙ノ一ノ「錫鍍シタルモノ」
ガ非常ニ低イト云フ御話デアリマス
ガ、是ハ御承知ノ通り葉鐵デアリマシ
テ、非常ニ使用サレル方面ガ廣イノデ
アリマス、各種ノ物ノ容器等ニモ使ハ
レルノデアリマシテ、而モ内地ニ於テ
マダ完全ナモノガ出來ナイノデアリマ
ス、且ツ昨年應急ノ英吉利ノ協定ガ
ナクナリマシタ際ニ於キマシテモ、只

今御説明申上ゲルト同ジ理由デ持ニ低
ク致シテ居ルノデアリマス、ソレカラ
「リドワイヤ」ニ付テモ、此前鑛山局
長カラ詳シク申上ゲタ理由デ低クナッ
テ居ルノデアリマス、是ハ内地ニ生産
ガ無イモノデアリマシテ、而モ「リボ
ン」ノ材料トモナルノデアリマスカラ、
特ニ低クシテ居ルノデアリマス
○加藤委員長 ソレデハ四百六十二ハ
濟ミマシタ——ソレデ十四類ニ付テハ
通告ハ終了シマシタ

「四百六十三ガアリマス」ト呼
フ者アリ
○加藤委員長 竹内君

○竹内委員 輕銀工業ノ將來ニ付テ昨
日政府委員カラ懇切ナル御説明ヲ承リ
マシタガ、尙ホ今少シ伺ッテ置キタイト
思ヒマス、昨日ノ御説明ニ依ルト、將來
此事業ガ内地ニ於テ相當ナ成績ヲ舉ゲ
ル、ト云フヤウニ伺ヒマシタガ、サウ致
シマスト此五分ト云フ保護關稅ハ私ハ
非常ニ低イノデハナイカト思フ、ソレ
デ私ガ政府委員ノ御考ヲ付度シマス、
將來内地ニ於テ起ルニハ起ルガ、マダ
確タル見込ガ立タナイ、先ヅ現行通り
据置カウト云フ位ノ——確タル御考ガ
確立シナイガ爲ニ、斯ウ云フ半上、半下
ノ結果ニ立至ッタノデハナイカト思フ
ノデアリマス、其工業ガ將來確實ニ起
ルト云フ御見込ナラバ寧ロ此際御上ゲ
ニナルカ、或ハ是ハマダ未成品デア
ル、何時出來ルカ分ラヌト云フ程度ナラ

バ、寧ロ此稅ヲ全ク御廢止ニナルガ宜
シイ、畢竟スルニ商工省ノ此邊ノ御考
ガ明瞭ヲ缺クノデハナイカト云フ風ニ
私トシテハ御聽取リ致シタノデアリマ
ス、其邊ヲ今少シ確タル御見込ヲ伺ッ
テ置キタイと思ヒマス

○宮内政府委員 昨日餘リ簡單ニ申上
ゲマシタノデ、御諒解シ難カッタ點ガア
ルカモ知レマセヌノデ、モウ一應重テ
申上ゲマス、「アルミニウム」工業ハ
申上ゲルマデモナク、非常ニ重要ナ工
業デゴザイマシテ、我國ニ於テ今日生
産ガゴザイマセヌ爲ニ、年々四千噸乃
至五千噸位ノ輸入ヲ見テ居ル次第デア
リマシテ、政府ト致シマシテモ、十分是
ガ確立ヲ期シタイト云フ考デ居リマス
ノデ、昨日申上ゲマシタ通り、工業試驗
場ニ於テ粘土ヨリ「アルミナ」ヲ製造ス
ル方法ヲ考ヘマシテ、ソレニ依テ輕銀
會社ガ相當純度ノ高イ「アルミニウム」
ヲ得テ居ル次第デアリマス、其他燐酸
燐土ニ依テ「アルミナ」ヲ得マシテ、ソ
レカラ「アルミニウム」ノ精鍊ヲスルト
云フ工場モ起リ掛ケテ居ルト云フコト
モ昨日申上ゲマシタ、其他民間ニ於キ
マシテハ或ハ「アルミナ」ヲ外國ヨリ取
リマシテ、サウシテ電氣分解ヲシテ「ア
ルミニウム」ヲ得ルト云フコトモ致シテ
居ルノデアリマス、ソレ等ノ點ヲ綜合
致シマシテ、今日ニ於テハ「アルミニウ
ム」製造工場ト云フモノガ、マダ工業的
ニ出來テ居ル云フコトハ申上ゲルコト

○加藤委員長 輕銀工業ノ將來ニ付テ昨
日政府委員カラ懇切ナル御説明ヲ承リ
マシタガ、尙ホ今少シ伺ッテ置キタイト
思ヒマス、昨日ノ御説明ニ依ルト、將來
此事業ガ内地ニ於テ相當ナ成績ヲ舉ゲ
ル、ト云フヤウニ伺ヒマシタガ、サウ致
シマスト此五分ト云フ保護關稅ハ私ハ
非常ニ低イノデハナイカト思フ、ソレ
デ私ガ政府委員ノ御考ヲ付度シマス、
將來内地ニ於テ起ルニハ起ルガ、マダ
確タル見込ガ立タナイ、先ヅ現行通り
据置カウト云フ位ノ——確タル御考ガ
確立シナイガ爲ニ、斯ウ云フ半上、半下
ノ結果ニ立至ッタノデハナイカト思フ
ノデアリマス、其工業ガ將來確實ニ起
ルト云フ御見込ナラバ寧ロ此際御上ゲ
ニナルカ、或ハ是ハマダ未成品デア
ル、何時出來ルカ分ラヌト云フ程度ナラ

○加藤委員長 輕銀工業ノ將來ニ付テ昨
日政府委員カラ懇切ナル御説明ヲ承リ
マシタガ、尙ホ今少シ伺ッテ置キタイト
思ヒマス、昨日ノ御説明ニ依ルト、將來
此事業ガ内地ニ於テ相當ナ成績ヲ舉ゲ
ル、ト云フヤウニ伺ヒマシタガ、サウ致
シマスト此五分ト云フ保護關稅ハ私ハ
非常ニ低イノデハナイカト思フ、ソレ
デ私ガ政府委員ノ御考ヲ付度シマス、
將來内地ニ於テ起ルニハ起ルガ、マダ
確タル見込ガ立タナイ、先ヅ現行通り
据置カウト云フ位ノ——確タル御考ガ
確立シナイガ爲ニ、斯ウ云フ半上、半下
ノ結果ニ立至ッタノデハナイカト思フ
ノデアリマス、其工業ガ將來確實ニ起
ルト云フ御見込ナラバ寧ロ此際御上ゲ
ニナルカ、或ハ是ハマダ未成品デア
ル、何時出來ルカ分ラヌト云フ程度ナラ

○加藤委員長 輕銀工業ノ將來ニ付テ昨
日政府委員カラ懇切ナル御説明ヲ承リ
マシタガ、尙ホ今少シ伺ッテ置キタイト
思ヒマス、昨日ノ御説明ニ依ルト、將來
此事業ガ内地ニ於テ相當ナ成績ヲ舉ゲ
ル、ト云フヤウニ伺ヒマシタガ、サウ致
シマスト此五分ト云フ保護關稅ハ私ハ
非常ニ低イノデハナイカト思フ、ソレ
デ私ガ政府委員ノ御考ヲ付度シマス、
將來内地ニ於テ起ルニハ起ルガ、マダ
確タル見込ガ立タナイ、先ヅ現行通り
据置カウト云フ位ノ——確タル御考ガ
確立シナイガ爲ニ、斯ウ云フ半上、半下
ノ結果ニ立至ッタノデハナイカト思フ
ノデアリマス、其工業ガ將來確實ニ起
ルト云フ御見込ナラバ寧ロ此際御上ゲ
ニナルカ、或ハ是ハマダ未成品デア
ル、何時出來ルカ分ラヌト云フ程度ナラ

○加藤委員長 輕銀工業ノ將來ニ付テ昨
日政府委員カラ懇切ナル御説明ヲ承リ
マシタガ、尙ホ今少シ伺ッテ置キタイト
思ヒマス、昨日ノ御説明ニ依ルト、將來
此事業ガ内地ニ於テ相當ナ成績ヲ舉ゲ
ル、ト云フヤウニ伺ヒマシタガ、サウ致
シマスト此五分ト云フ保護關稅ハ私ハ
非常ニ低イノデハナイカト思フ、ソレ
デ私ガ政府委員ノ御考ヲ付度シマス、
將來内地ニ於テ起ルニハ起ルガ、マダ
確タル見込ガ立タナイ、先ヅ現行通り
据置カウト云フ位ノ——確タル御考ガ
確立シナイガ爲ニ、斯ウ云フ半上、半下
ノ結果ニ立至ッタノデハナイカト思フ
ノデアリマス、其工業ガ將來確實ニ起
ルト云フ御見込ナラバ寧ロ此際御上ゲ
ニナルカ、或ハ是ハマダ未成品デア
ル、何時出來ルカ分ラヌト云フ程度ナラ

○加藤委員長 輕銀工業ノ將來ニ付テ昨
日政府委員カラ懇切ナル御説明ヲ承リ
マシタガ、尙ホ今少シ伺ッテ置キタイト
思ヒマス、昨日ノ御説明ニ依ルト、將來
此事業ガ内地ニ於テ相當ナ成績ヲ舉ゲ
ル、ト云フヤウニ伺ヒマシタガ、サウ致
シマスト此五分ト云フ保護關稅ハ私ハ
非常ニ低イノデハナイカト思フ、ソレ
デ私ガ政府委員ノ御考ヲ付度シマス、
將來内地ニ於テ起ルニハ起ルガ、マダ
確タル見込ガ立タナイ、先ヅ現行通り
据置カウト云フ位ノ——確タル御考ガ
確立シナイガ爲ニ、斯ウ云フ半上、半下
ノ結果ニ立至ッタノデハナイカト思フ
ノデアリマス、其工業ガ將來確實ニ起
ルト云フ御見込ナラバ寧ロ此際御上ゲ
ニナルカ、或ハ是ハマダ未成品デア
ル、何時出來ルカ分ラヌト云フ程度ナラ

○加藤委員長 輕銀工業ノ將來ニ付テ昨
日政府委員カラ懇切ナル御説明ヲ承リ
マシタガ、尙ホ今少シ伺ッテ置キタイト
思ヒマス、昨日ノ御説明ニ依ルト、將來
此事業ガ内地ニ於テ相當ナ成績ヲ舉ゲ
ル、ト云フヤウニ伺ヒマシタガ、サウ致
シマスト此五分ト云フ保護關稅ハ私ハ
非常ニ低イノデハナイカト思フ、ソレ
デ私ガ政府委員ノ御考ヲ付度シマス、
將來内地ニ於テ起ルニハ起ルガ、マダ
確タル見込ガ立タナイ、先ヅ現行通り
据置カウト云フ位ノ——確タル御考ガ
確立シナイガ爲ニ、斯ウ云フ半上、半下
ノ結果ニ立至ッタノデハナイカト思フ
ノデアリマス、其工業ガ將來確實ニ起
ルト云フ御見込ナラバ寧ロ此際御上ゲ
ニナルカ、或ハ是ハマダ未成品デア
ル、何時出來ルカ分ラヌト云フ程度ナラ

ハ出來マセケレドモ、併ナガラ是ハ
近ク出來ベキモノ、又出來サスベキモ
ノト云フヤウナ考デ居リマス、是ハ申
上ゲルマデモナク硫酸法ニ依リマシテ
モ「アンモニヤ」ノ問題、或ハ電極ノ問
題、或ハ電力ノ問題等ガ主タル要素ヲ
爲シマスカラ、是等ノ點ニ付テハ當業
者諸君ノ間ニ於テモ、一致シテ此工業
ノ確立ヲ期スヤウニシタイ、又商工省
ト致シマシテモ左様ニシタイト云フ考
ヲ持チマシテ、既ニ當業者ニ對シマシ
テハ、各自ノ意見ヲソレソレ聽イテ居
ルト云フヤウナ狀態デアリマス、燐酸
燐土ヨリスル方法ハ是ハ直グ起ルト考
ヘテ居リマス、又「アルミナ」ヲ輸入ス
ルト云フコトデアリマスナラバ、是モ
直グニ起ルト考ヘテ居リマス、ソレデ
先ヅ今日ニ於キマシテハ此程度ノ稅ヲ
据置キマシタ譯デアリマス、此程度ノ稅
ヲ据置キマシタナラバ、直グ起ッテ來ル
モノニ對シテ殊ニ「アルミナ」ヲ輸入シ
テ、サウシテ精煉ラスルト云フコトデ
アリマスナラバ、是亦容易ニ出來ルコ
トデアリマスルカラ、ソレ等ノ點ヲ考
慮シテ暫ク此稅ヲ据置キマシテ、將來
此稅ヲ以テシテハイカスト云フ時代ガ
來マシタナラバ、其時ニ於テ稅率ヲ考
慮スルト云フ考デ居リマス、ソレデ十
分ニ此工業ノ確立ヲ期スルヤウニ、又
確立スベク漸次其方向ニ向ヒツアル
ト云フ點ヲ見マシテ、五分ノ稅ヲ据置
イタ次第デアリマス

○竹内委員 大體分リマシタガ、今一
ツ御確メ致シテ置キタイコトハ、然ラ
バ此「アルミニウム」工業ヲ發達サセル
上ニ於テ政府ハ大ニ進ンデ獎勵シテオ
ヤラセニナルト云フ御意圖ヲ持ッテ居
ルモノト考ヘテ宜シウゴザイマスカ
○棚瀬政府委員 御尋ノ通りデゴザイ
マス
○竹内委員 了解致シマシタ
○加藤委員長 ソレデハ第十四類ハ是
デ質問ガ終了致シマシタ、ソレデハ午
後一時カラ第十五類ヲ繼續シテ質問致
シマス
○堀切委員 午後ハ豫算案ノ重大審議
デ、アチラヲ缺席スル譯ニ行キマセヌ
カラ、昨日モ其意味デ休ンデ居リマス
カラ……
○加藤委員長 ソレデハ決議ノ際ニ
ハ、アチラカラ、通告シテ貰ッテ御出席
ヲ願フコトニシテ、サウシテ質問ヲ繼
續シタイト思ヒマス
○堀切委員 吾々決議ニ一票ヲ投ズル
バカリデハナイノデアリマス、賛否兩
方ノ意見ヲ聽キ、政府ノ意見ガ善ケレ
バ賛成シタイノデアリマス、今日ハ出
ナケレバ何トモ困ルノデアリマス、必
シモサウ御急ギニナル必要ハナイト思
ヒマス
○加藤委員長 皆サンノ御意見ハ如何
デスカ、只今マデガ明日又明日ト云フ
コトデ、延ビ々々ニナッテ居ルノデアリ
マスガ、併シ皆サンガ御休ミニナル方

ガ宜シケレバ——ソレデハ今日ハ是デ
散會致シマス、明日ハ午前十時ヨリ開
會致シマス
午後零時三分散會